

2025年度 社会福祉法人 あみくるDays

事業計画書

1. 施設運営方針

- ① 利用者へのサービスについて職員が共通認識を持ち、一人一人の発達を支援します。
- ② 健全な環境作りに努め、利用者が主体的に生活できるように自己選択・自己決定を大切にします。
- ③ 他の社会資源との連携を図り、適正且つきめ細かなサービスを提供します。
- ④ 開かれた施設を目標に多方面でボランティアを受け入れ、ノーマライゼーションの理念を、地域に向けて、発信していきます。

利用者支援方針

○基本姿勢

- ①利用者一人ひとりの個性を尊重し、個別支援計画に基づいた適切な支援を進めます。
- ②利用者への安定した関わりが継続できるよう、職員・スタッフ間の情報共有と共通理解を深めるようにします。
- ③相談機関をはじめ、地域の様々な資源（施設、医療機関、学校）と連携してそれぞれの専門性を効果的に活用するよう努めます。
- ④日々の支援内容や業務を職員間で毎日振り返り、情報の共有をします。

○「生活介護事業」の取り組み

- ・一人ひとりに必要な援助と必要な支援方法を考えた個別支援計画を作成します。
- ・職員と保護者との信頼関係を深め、利用者が健康で主体的な生活が送れるように協力していきます。
- ・利用者の障がいの状況に配慮しながら、作業活動を取り入れると共に創作や戸外活動を充実していきます。

○「就労継続支援B型支援事業」の取り組み

- ・宅配弁当事業や手工芸品製作、調理補助、接客、軽作業、創作作業を行いながら働くことの意義や姿勢、社会のルール、仲間との関わり、地域交流等の獲得ができ、尚且つ生活の質(QOL)の向上を図れる支援をします。
- ・自主製品作りを行い、1階のギャラリー喫茶(カフェあみくる)や市内の障害

者施設製品の販売所「カフェふらっと」での展示販売により、利用者の販売意欲を高め、地域の方々との交流の機会として社会性を育てていきます。

2. 授産事業の計画

○生活介護事業

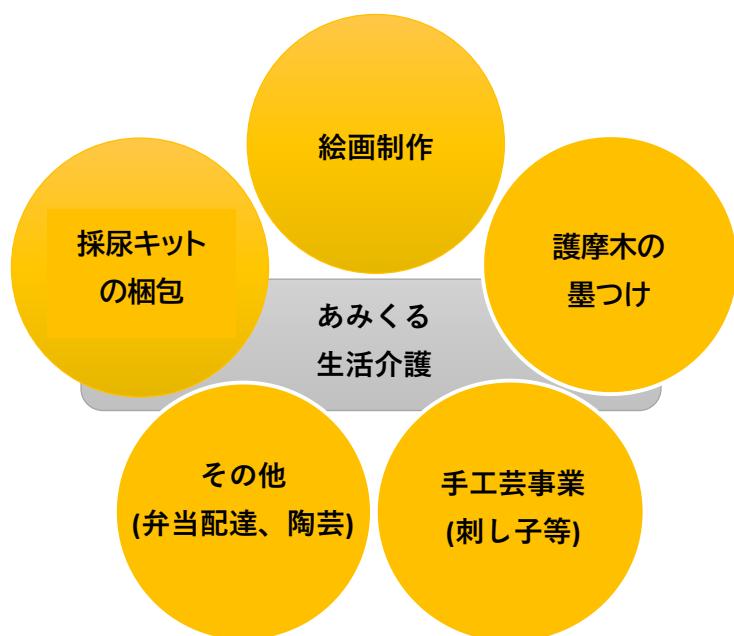
事業所名：あみくる

定員：10名 利用契約者：10名

職員：管理者 1名 サービス管理責任者 1名

生活支援員：9名（正職員 2名、パート 7名） 医師：1名 看護師：1名

●作業内容



<手工芸品(刺し子、アクリルたわし)>

- ・週に 1 回来所して下さるボランティアのご指導で刺し子製作は安定して継続している。利用者の作品を販売できる製品にする作業もボランティアの力を借りている状況なので今年度はあみくるスタッフも一緒に製品づくりを考えていきたいと思う。

<護摩木の墨つけ>

【陶芸部門や採尿キットの梱包、護摩木の墨つけ作業の事業計画】

- ・陶芸作品製作を通じ、創作性を養い、粘土や布地に触れることや製作過程で手指の感覚や力加減を身に付ける。

- ・光明院の住職さんのお計らいで護摩木の墨つけ作業に取り組んでいる。工程が単純な為、作業が身に付きやすく取り組みやすい。
- ・一本いくらになるかを理解してもらうことで工賃への繋がりを知つてもらう。
- ・株式会社光希様より採尿キットの梱包作業を請け負っている。工程は多いが、繰り返し取り組むことで利用者さん達も工程が身についてきた。作業速度の向上が見込まれる。

<弁当配達>

【配達部門での事業計画】

- ・弁当配達を通じ、地域交流、挨拶、運動不足の解消を目指す。

<絵画制作>

【絵画製作部門での事業計画】

- ・創作性や手指巧緻動作、目と手の連動性、展示または製品化されることでの達成感の獲得を目指す。

○就労継続支援 B型事業

事業所名：あみくる

定員：10名 利用契約者：10名

職員：管理者 1名 サービス管理責任者 1名（生活介護事業と兼務）

職業指導員：1名（正職員 1名） 目標工賃達成指導員：3名（パート 3名）

生活支援員：1名（パート 1名）

●作業内容



<陶芸> <線香束ね> <手工芸品(刺し子、アクリルたわし)>

【陶芸部門や手工芸品、線香束ねの事業計画】

- ・陶芸作品製作を通じ、創作性を養い、粘土や布地に触れることや製作過程で手指の感覚や力加減を身に付ける。
- ・光明院の住職さんのお計らいで護摩木の墨つけ作業に取り組んでいる。工程が単純な為、作業が身に付きやすく取り組みやすい。
- ・一本いくらになるかを理解してもらうことで工賃への繋がりを知つてもらう。
- ・株式会社光希様より採尿キットの梱包作業を請け負っている。工程は多いが、繰り返し取り組むことで利用者さん達も工程が身についてきた。作業速度の向上が見込まれる。
- ・陶芸作品製作を通じ、創作性を養い、QOL の向上や粘土や布地に触れることや製作過程で手指の感覚や力加減を身に付ける。

<弁当配達>

【配達部門での事業計画】

- ・弁当配達を通じ、地域交流や、挨拶、運動不足の解消、働く意識の獲得を目指す。

<絵画制作>

【絵画製作部門での支援計画】

- ・創作性や手指巧緻動作、目と手の連動性、展示または製品化されることでの達成感の獲得、QOL の向上を目指す。

<カフェ>

【カフェ部門の事業計画】

- ・カフェでの作業を通じ、作業を完遂することの達成感や本人の役割、金銭感覚や丁寧な言葉遣い等の獲得を目指す。また、工賃向上の為にもカフェの売上を上げる取り組み(新メニュー開発、イベントへの出店等)も視野に入していく。

○就労継続支援 B型事業

事業所名：あみくるおべんと屋さん

定員：20名 利用契約者：21名

職員：管理者兼サービス管理責任者 1名

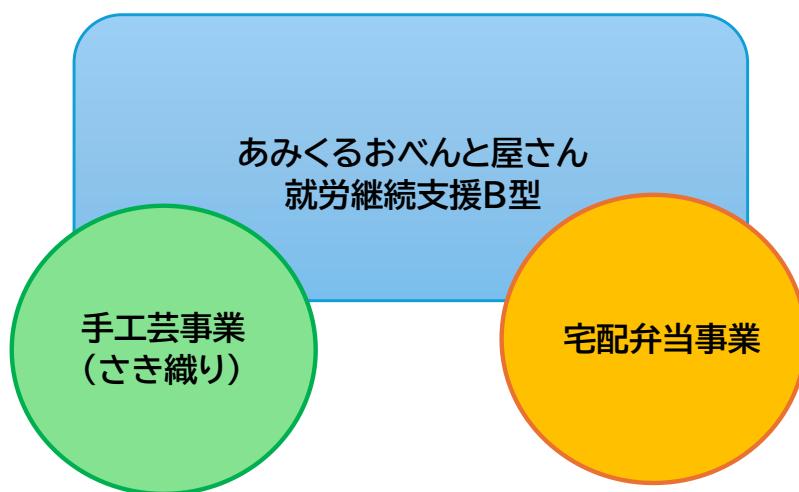
職業指導員：9名（正職員 2名、パート 7名）

生活支援員：4名（正職員 2名、パート 2名）

目標工賃達成指導員：1名（正職員 1名）

事務員：1名（パート 1名）

●作業内容



<宅配弁当事業>

【宅配弁当事業計画】

- ・1月よりお弁当の値上げを実施したが、お客様が減ることもなく、特別弁当の注文も増えている。
- ・調理器具の適切な扱い方、洗い物等、働く意識等の獲得を目指す。また、配達を通して地域社会との交流を広げ、宅配弁当の受注数を増やし、利用者の工賃向上も目指す。

<手工芸品の製作>

【手工芸品作成の事業計画】

- ・目と手の協調性や手指の巧緻動作、製品を作り上げる達成感や自信、働く意識の獲得を目指す。

3. 企業等の連携、販路等について

- ・ あみくる出張所である「SHOPいろいろ」にて、自主製作した製品を展示販売し収益を上げる。展示の工夫にも力を入れ、魅力的な店舗にするよう努力する。
- ・ 「カフェふらっと」にて、これまでの製品に加え新たに商品数を増やして、法人の認知や販売収益を強化する。
- ・ ギャラリー喫茶「カフェあみくる」はこれまで通り絵画・写真等の展示を行うが、特に地域の方々の絵手紙等の展示を増やし、見に来てくださる方々にあみくるを知っていただく機会を広げていきたい。
- ・ カフェそのものも新メニューの企画に力を注ぐ。
- ・ 茶色の小びんでは、展示／販売実績があり理解のあるオーナーの協力を得て連携の強化を図る。
- ・ タカノ珈琲では、ご協力頂いているボランティア等を通して展示／販売の機会を増やし、販売収益を伸ばす。
- ・ 清澄白河にあるギャラリーas に年間3回ほど展示販売をしている。特に布ぞうりのファンが多く、今後もクオリティを上げて高い金額で販売できるようにしたい。
- ・ 地域の販売場所として中央ふれあい館での売り上げが良いが、昨年度は青木東公民館の販売も実現することができ、売り上げも上々であった。今後も公民館での販売に力を入れていきたい。

4, 令和7年度あみくる・あみくるおべんと屋さん年間活動・行事計画(案)

令和7年度あみくる・あみくるおべんと屋さん年間事業計画(案)			
開催日		事業内容	備考
4月	7日(月)	入所式	中央ふれあい館
5月	13日(火)	感染症対策委員会	両施設
	17日(土)	あみくるバザー	あみくる
6月	9日(月)	植栽活動(1回目)	あみくる
7月	1日(火)	虐待防止・身体拘束廃止委員会	両施設
	21日(月)	保護者会	中央ふれあい館
	28日(月)	テーマ研修	両施設
9月	1日(月)	非常食点検日	両施設
	4日(木)	感染症対策委員会	
	5日(金)	誕生日会(前半)	各施設
	12日(金)	避難訓練	各施設
	15日(月)～23日(火)	支援計画に関わる面談	各施設
10月	1日(火)	BCP(災害)研修	両施設
	4日(土)	あみくる祭り	あみくる
	12日(日)	こども祭り	キュポ・ラ広場
	31日(金)	日帰り旅行	各施設
11月	7日(金)	歯科検診	両施設
	10日(月)	植栽活動(2回目)	あみくるおべんと屋さん
12月	6日(土)	クリスマス会	中央ふれあい館
	13日(土)	ハートフェスタ(予定)	キュポ・ラ広場
	27日(金)～4日(日)	冬季休業	
1月	5日(月)	仕事始め	両施設
	15日(木)	全体研修(虐待防止権利擁護)	両施設
2月	2日(月)	避難訓練	両施設
	11日(水)	保護者会	中央ふれあい館
	未定	みんなの音楽会	未定
3月	6日(金)	誕生日会(後半)	各施設
	16日(月)	健康診断	済生会健診センター
	7日(土)	ふれあい館文化祭	各施設
	17日(火)～25日(火)	支援計画に関わる面談	各施設

その他の活動計画

活動名	活動期間	場所
体育活動	2カ月に1回	ふれあい館または各施設
英語教室	2カ月に2回	各施設
アトリエ教室	週1回(月)	あみくる
職員研修	6月	あみくる
	11月	
全体研修	1月	あみくる
BCP研修(感染症、災害)	各年1回	両施設
避難訓練	年2回程度(9月、2月)	各施設
事例検討会	月1回(第1火曜日)	あみくる
職員会議	月1回(第3木曜日)	あみくる
衛生用品在庫確認	3カ月に1回	各施設
訪問看護(看護師) <生活介護部門>	週1回(木)	あみくる
訪問診察(たたら内科医師) <生活介護部門>	月1回(木)	あみくる